

海城英語 STAY HOME チャレンジ！！講評・解説

多くの生徒が意欲的に取り組んでくれました。中学1年生の皆さんにとっては、ほとんどが難しいチャレンジだったと思いますが、英語（あるいは広く外国語）に興味を持ってもらうきっかけになったのであれば幸いです。

中1の皆さんは、英語を学び始めた今の新鮮な気持ちを、ぜひ持ち続けてください。君たちが目を輝かせてこのチャレンジに取り組んでいる様子を想像するだけで、我々教員も楽しい気持ちになりました。今回のチャレンジは任意のものでしたが、とりわけ中1の皆さんから多くの反応が寄せられました。一つ一つのコメントを、じっくりと嬉しく拝見しました。英語を教えていて嬉しいこと、ワクワクする瞬間は数多くあるのですが、中1の諸君を目の前にした初回の教室での授業ほど我々の胸を高鳴らせるものはありません。新しい言語と出会えた今の喜びをこれからも持ち続けてください。

中2・中3の皆さんからも嬉しい感想が多く寄せられました。ありがとうございます。今年度も引き続き意欲的に学習に取り組みましょう。少しずつ学ぶことや覚えることが増えて、日々の学習が大変に感じられるかもしれませんね。しかし、日常のちょっとしたところに、このステイホームチャレンジのような楽しい、ちょっぴり刺激的な学習を取り入れてみましょう。そのようなことを「学習」と感じなくなった時、君の英語力は間違いなく伸びていると言えます。そして、語学学習は何よりも継続が肝要です。自分に続けられる方法で、楽しくことばと触れ合ってください。英語学習の本当の面白さは、ここからです！

高校生の意欲ある生徒諸君からも、多くの肯定的なコメントを頂戴しました。語学学習は時として終わりの見えない苦しいプロセスでもありますが、それを如何に楽しいものと自分に思わせることができるかどうか、このあたりに外国語学習の成否はかか

っていると言っていいでしょう。高校生だと、どうしても受験を意識した学習になりますが、今回のチャレンジを通じて、単なる受験にとどまらないことばの世界の面白さや語学学習の深みを感じてもらえたのであれば幸いです。引き続き、前向きに英語の学習に取り組んでください。

以下にチャレンジごとの簡単な解説を記しました。興味のあるところだけでも読んでもらえれば幸いです。本来は、キリよく50個のチャレンジを計画していましたが、ビンゴ形式という体裁の都合もあり、7×7の49個のチャレンジになりました。でも、やっぱり50の方が、キリが良さそうですね。君たちへの50個目のチャレンジは、「一生、前向きに語学学習に取り組むこと」としましょう。このチャレンジを達成しようと努力を重ねた先に初めて見える景色、体験し得る世界があることでしょう。皆さんの奮闘に大いに期待しています。

それでは、また学校でお会いしましょう！

(海城中学高等学校英語科一同)

<実際に取り組んだ生徒から寄せられた感想・コメント>

中1

▼英語の力はまだまだだと思った。(1組)

▼今までの生活では、こんなに英語に触れる機会が少なかったが、このチャレンジのおかげで英語に触れる機会が増えて、毎日の習慣づけになったので、本当に良かったです。(2組)

▼今まであった、英語に関する様々な勘違いが、今回のチャレンジでどんどん見付き(虫の名前で蛾をキャタピラと勘違いしていた、など)、今までの勘違いを修正できてよかったです。(3組)

▼とても難しく苦労しましたが面白かったです。ありがとうございました。(4組)

▼16行埋めようとしているそのあなた！全部埋めるには相当の努力と根気がいるから覚悟して取り組もう！(4組)

▼結構楽しかったです。(7組)

中2

▼グーグルアースで昔住んでいたロンドンの家の周りを旅しました。懐かしかったです。ビリー隊長の筋トレがきつかったです。最後に先生に問題です。floccinaucinihilipilificationの意味は何でしょう？(4組)

▼海城英語 Stay Home チャレンジ、“Very Exciting!”でした。英語科の Sway のページに、この Stay Home チャレンジを見たとき、「僕が待ち望んでいたのは、これだ!」と思い、とてもやる気になりました。おそらく、「チャレンジ」という言葉が、これをやる原動力になったと思います。やっていて、英語の勉強になり、これを通して、自分の英語力をさらに伸ばせた、と思っています。(6組)

▼NHKのニュース7を英語で聴くのは難しいけれど、身近に英語に触れる事ができると思った。まだチャレンジしていない人には、スマホの言語設定を英語にするなど、面白そうなものからチャレンジするのをおすすめします。(8組)

中3

▼外に3週間くらい出てないのでこれやったら筋肉痛になりました。(1組)

▼最寄駅から自宅まで説明するのは役に立つかもしれません。(4組)

▼このチャレンジがきっかけで英語の本などをまじめに読むようになった。(8組)

高校生

▼楽しかった。

▼勉強に身が入らないときに、やってみたところ、楽しく英語の

勉強ができた。知らないことも、調べることで、英語以外の勉強にもなった。

▼英語のしりとりは1人でやろうと思ったが、上手くできるとは思えなかったので、家にいる親に付き合ってもらった。外国の国歌は、イスラエルなど公用語が英語ではない国のを聞くことを楽しんだ。

<以下、チャレンジごとの解説>

A1（英語日記）…中2、中3生、過去形がうまく使えましたか？途中まで過去形なのに、途中で現在形になってしまう作文、よく見かけます。

A2（洋楽）…海城では、歌も授業に取り入れています。リズムを体得してください！そして、歌詞の解釈も多様です。

A3（映画の原題）…「トイ・ストーリー」は、そのままだけど、「アナ雪」は？ *Only Yesterday / Whisper of the Heart* はいずれもジブリ作品の英語タイトルですが、何だか分かりますか？

A4（虫の名前）…これは人によって食いついた人と避けた人にわかれたかもしれませんね（笑）。蚊や蛾は言えますか。あるいは虫全体を指す語もいろいろ。bug / insect / worm 違いを調べてみましょう。

A5（英語ジョーク）…こんなのはいかが？ “How many people work in your office?” - “About half of them.” 大丈夫、海城の先生はみんな懸命に毎日働いていますからね（笑）。

A6（英語のYouTube動画）…いろいろ、ありすぎて、一つに絞れません。ぜひ、芋づる式にいろんな動画で英語を勉強してみてください。

A7（寿司ネタ）…サーモン、いくら、マグロ、イカ、エビ…高校生諸君、この辺りはまだすぐ出てきますか？ サバ、大トロ、

イワシ、カンパチはどうだい、そこの海城生？へい、bonito に amberjack, eel, sea urchin はいかがですかい！しつこい？わかったよ、I'm saury...

B1 (ob で始まる語) … ob で始まる単語には難単語が多いという都市伝説(?)がある。obese / oblique はまだ序の口。obscurantism / obstreperous は？調べてみよう！

B2 (人の体の部位) … これは、英語の辞書に付録でついていそうですね。近年の辞書は、Picture Dictionary の充実ぶりが一つの特徴、流れです。体の部位が言えた人は、臓器の名前はとうですか？医学部志望の高校生、心臓、腎臓、肝臓、大腸、小腸、脾臓、全部英語で言えます？lung、あ、間違えた、ハイ、言えましたね。

B3 (副音声でニュース) … 事前に知識があると、英語ニュースの理解度もグンとあがるものです。日本語・英語にかかわらず、いろんなことに興味を持っておきたいものです。

B4 (動名詞を目的語にとる動詞) …これは、中3～高1向けのチャレンジでしたね。模試に出そう。MEGAFEPS (メガフェップス) という覚え方を知っていますか？何だか恐竜みたいですが…。Mind / Enjoy / Give up / Avoid / Finish / Escape / Put off / Stop の頭文字をとったものです。

B5(同音異綴語)… ←そもそも、この漢字の読み方が難しい(笑)。でも、意味はわかりますよね。同じ発音だけれど、綴りが異なる語のペア(トリオでもいいのですが)です。main(主な) / mane(たてがみ) / Maine(メイン州) などなど。マニアックなのを見つけたら、教えてください。

B6 (名前を英語で) …これは、海外にいったときに、ネタとして使えそう。すらすら説明できるとカッコイイですね！

B7 (米国大統領) … アメリカでは、時として歴代の大統領の人気ランキングのようなものが調査、発表されるみたいですが、George Washington, Abraham Lincoln, Franklin Roosevelt の3人は常に上位に入るとのこと。20～21世紀にかけての大統領は、後世の人からどのように評価されるのでしょうか？なお、YouTube 上には「歴代アメリカ大統領を歌で覚えよう」のようなものあり、面白いですよ。

C1 (英単語しりとり) …今回は10単語でしたが、最大でどこまでいけるのでしょうか？ところで、「しりとり」って英語でどう言うのでしょうか？言葉遊びのあり方は、その言語の仕組みとも大いに関係がありそうですね。

C2 (パブリカ) …元気に、歌って踊りましょう。

C3 (道順説明) … う～ん、英語の勉強になりますね、これは。「まっすぐ」「まがる」「電車に乗る」「ガードレールの下をくぐる」…英語で何と言うのでしょうか？

C4 (スマホの設定を英語に) …これこそまさに、「英語で生活する」ということです。でも、英語の方がシンプルでわかりやすいものもあるので面白いですね。Do Not Disturb なんか、そのままですね。ちなみに、iPhone の人は、Siri も英語の設定にできますから、自分の英語がきちんと認識されるかどうか試してみるのもいいですね。まずは、Hey! と呼びかけてみては？

C5 (外国の国歌) … 国によっては、複数の公用語で異なる歌詞を持つ国歌もあるようです。世界は広いですね。

C6 (部屋の様子を描写) … こういうアクティビティは、英語を話す訓練として最適ですね。あとは、電車の中の様子を実況中継してみる、とか。やりすぎに注意ですが。

C7 (筋トレ動画) … 腕立て、腹筋、背筋、さあ英語で何という？

筋トレやりながらだと、そんなこと考えている余裕はないかもしれませんね（笑）。

D1（-al で終わる語）… 最近の電子辞書だと、「逆引き機能」のような便利な機能があると思います。-al で終わる語を一覧で示してくれるのです。arrival, approval, removal…高校生諸君、ほかに何か思いつきますか？アクセントとの関連も何か気づくでしょうか？

D2（英語圏の虹の色）… Richard Of York Gave Battle In Vain.（ヨーク公リチャードは無駄な戦いをした。）の頭文字をとって覚える（Red/Orange/Yellow/Green/Blue/Indigo/Violet）方法があります。このような記憶術を mnemonics（ニーモニックス）と言いますが、五大湖を HOMES と覚えたり、円周率を May I have a large container of coffee?（←各単語の文字数が、数字と一致して、3.1415926 となっている）と絡めて記憶するのも、このバリエーションと言えます。何か面白いのが思いつきそうでワクワクしますね。

D3（アフリカ大陸の国）… South Africa / Kenya / Nigeria といった国は、出てきそうですね。発音にも注意です。「エチオピア」「スーダン」「エジプト」など要注意ですね。

D4（英語の早口言葉）…英語では、tongue twisters と言います。Peter Piper picked a peck of pickled peppers…は最も有名なもののうちの一つです。文字通り、舌が絡みそうになりますね。She sells seashells by the seashore. もよく知られていますね。これを暗唱できれば、三単現の -s はしばらく忘れそうにありませんが…。短いものでは、Eddie edited it. のようなものもありました。

D5（英検過去問）… 資格試験を目標にするのも、語学学習にお

いてはよいモチベーションになります。本校だと、高2・高3の強者の中に、準1級（←この辺りから語彙がグンと難しくなる）あたりの合格者も出てきそうです。

D6（英語のレシピ）… これで美味しいものが作れたら、かなり英語力に自信がつきそうですね！料理の腕も上がり一石二鳥！

D7（zで始まる語）… う～ん、zebraとzucchiniしか思いつかない…。あ、最近流行りのzoomがありましたね！マニアックな語だと、zinc（亜鉛）/ zymology（発酵学）といったものがありました。enzyme（酵素）は理系の高校生はぜひ覚えておきましょう。役に立つ（かもしれない）。他にもzodiac / zealあたりは高3生は押さえておきたい。ちなみに、ある辞書の最後の見出し語は、ZZZ（グーグー）。そろそろ、眠くなってきましたか？

E1（英字新聞を読む）… *The Japan Times*などを英語科のページで紹介しました。たまには英語でニュースを読むのも楽しいですよ。習慣化できたらしめたものですね！

E2（シェイクスピア）… 「本当に英語圏の文化を理解したかったら、シェイクスピア・聖書・ギリシャ神話・マザーグースの4点は欠かせない」と言ったのはどこの先生だったのでしょうか。ちなみに「基礎英語2」のテキストでは、付録のコーナーで *The Twelfth Night*（十二夜）という物語が（現代英語の散文で）紹介されています。こういうところにも目を配って学習していきたいですね。1616と…。

E3（comic strip）… 「書く」という技能は、4技能の中でもとりわけ身に付けるのが難しい、とよく言われます。その中でも、このように自分の身近なところにテーマをとって書いてみる、というのはよい勉強法です。一時期、英語で日記を書く、という学

習法も脚光を浴びましたが、その手の書籍も数多く出版されていますので、一度書店でチェックしてみてもは？思わぬ掘り出し物に出会えるかもしれません。

E4（英語教師も知らない単語）… どんなに勉強しても、知らない単語はあるものなんですよ、これが…。でも、そんなことにもめげずに、英語学習の日々は続いていきます…。それを楽しむくらいでないと！

E5（日本の祝日）… 元日 / こどもの日 / 文化の日、この辺りは言えそうですね。では、憲法記念日 / 敬老記念の日 / 勤労感謝の日 / 成人の日、あたりになると少し難しい。春分の日、秋分の日、はどうですか？最近できた、海の日、あたりはいかが？

E6（和製英語）… 例えば、開幕が待ち遠しいプロ野球。ナイターは通じない英語だって知っていましたか？デーゲームは通じますけどね…。何だか不思議、何故「ナイター」なるカタカナ語を我々は作ってしまったのでしょうか。他にもいろいろと、探してみてください。通じるけど、別の意味で伝わってしまうような語もあるかもしれません。

E7（/l/と/r/で意味が異なる語）… 簡単なところだと、light / right のようなものです。アメリカのトルーマン大統領は、“Not all readers are leaders but all leaders are readers.”（全ての読書家がリーダーとは限らないが、全てのリーダーは読書家だ。）と言ったとのこと。うまいもんですね。何だかこれも tongue twister っぽいですが…。

F1（笑う・泣くを表す語）… smile/laugh はすぐに思い付きますね。giggle / chuckle / sneer / grin などはどうでしょう。LOL という三文字は SNS で大活躍。2019年に刊行されて好評を博している『英語ことば選び辞典』（学研）では、「泣く」にあた

る語として、cry / sob / weep / whimper が挙げられています。

F2 (*The Japan Times*) … 英字新聞を読むことは、英語の勉強になるだけでなく、大いに自分の視野を広げるきっかけになりますので、機会を作って読んでみましょう。難易度も様々なものがあります。なお、この新聞の一面には、“All the news without fear or favor”（あらゆるニュースを、恐れずに、偏見なく）というモットーが堂々と掲げられています。

F3 (イギリスの苗字ベスト5) … やはり(?) Smith / Jones が二代巨塔を形成しています。3位以降は、Williams / Taylor / Davies (順位は若干の変動があるかも) あたりがくるようです。Taylorさんは当然、tailor (仕立て屋) という職業と密接に関わりがあるのでしょうか。私が出会った人に、Sheriffさんという方がおられました。きっと、ご先祖さんが地元の偉い方だったのでしょう。

F4 (アメリカの祝日) … 州によってもいろいろと異なるようですが、先日は5月25日(月)が祝日です、と言っていたので調べてみますと、南北戦争に起源を持つと言われる Memorial Day (戦没将兵追悼記念日) でした。日本と少し異なるのが、movable holiday (年によって日付が変わる祝日) がある点でしょうか。Easter Day (イースター: 復活祭の祝日) は、「3月21日以降の満月の日の後の最初の日曜日」だそうです。う〜ん、どうやって覚えればいいのか? 誰か、mnemonics をお願いします。

F5 (世界人権宣言) … 外務省のホームページに和文と英文が掲載されていますので、ぜひアクセスしてみてください。こういう宣言や条文の中で使われる独特の言い回しもありますから、それらに触れてみるのも意義深いことだと思います。

F6 (CNN10) … 以前は CNN Student News というタイトルで中高生のネイティブスピーカー向けに時事ニュースを配信

していました。本校英語科のページでも紹介した、コマーシャルフリーの（約）10分間のニュース番組。アンカー役の Carlさんは少し早口ですが、とても陽気で楽しい方なんだな、というのが伝わってきます。また、この番組（サイト）の優れた点は、なんとニュースのトランスクリプト（放送原稿）が公開されているというところ。ぜひ、活用してみてください。

F7（英米の違い）… 車のトランクは、イギリスでは何と言うのでしょうか？first floor が指す「階」が英米で違う？困ったものです。更には国の中でもいろいろな違いがあるようで…。ピーター・トラッドギルという社会言語学者に *Sociolinguistics*（社会言語学）という古典的名著がありますが、イギリスでは garage（車庫）という語をどう発音するかによってその人の社会階層が分かるとか。話はどんどん広がっていきます。

G1（英語以外の言語）… Je suis Yamada. Et vous?余裕があれば（ないですかね）、英語以外の言語も覗いてみてください。思わぬ発見があって楽しいものです。私も、ドイツにある都市「ケルン」が英語の colony と関連があるとわかった時には、3分くらい「へ～！」と言いつけていました。新学期当初は、特に語学学習に対するモチベーションが高まる時期です（よね）。その気持ちを、常に持ち続けましょう！

G2（自分の英語を録音）… こういう時代ですから、どんどんテクノロジーを活用して自らの英語力の向上を目指しましょう！

G3（Google Earth）… 英語そのものの学習にちょっぴり疲れたら、どうぞ。素敵な旅が楽しめましたか？

G4（英語の名言）… インターネットのサイトでいろいろと関連の情報を見ていると、イギリスは宰相チャーチルが数多くの名言を残していますね。アメリカだとやはり歴代の大統領でしょうか。

アメリカの大統領のスピーチだと、「元ネタ」がこっそりとしのばせてあることが多いので、それに気付けるかどうかは教養人かどうかの一つの試金石だとか。何だか試されているみたいな気がします…。

G5(ことわざ)…「鬼のいぬ間に洗濯」→ When the cat's away, the mice will play. 英語になると、急に動物が出てくるのが可愛らしいですね。「類は友を呼ぶ」→ Birds of a feather flock together. これも、動物が出てきました。結構、多いのかもしれませんが…。日本語と英語の発想の共通点や差異などに気付けるかもしれませんが…。他にもいろいろと調べてみてください。

G6(英語のI はなぜ大文字?) … いかにも中学1年生の諸君から出そうな質問ですが、英語の学習が進むと、このような疑問にだんだん向き合わなくなってしまうものです。実のところ、英語教師にとって、中1の生徒からの質問が意外に鋭く、そして学問的にも奥深く、答えに窮してしまうことが往々にしてよくあるものです。英語圏の人は自己主張が強いから、というのは誤りで、簡単に言うと、「他の文字との区別をはっきりとさせるため」というのがその理由です。昔は、今のように印刷技術などありません。複数の文書が必要な場合は、手で書き写していました。m や n など縦線が多い文字に i が埋もれてしまうことは容易に予想できますよね。そうした事態を避けるために、「私は」を表す I は常に大文字で書かれるようになった、というのが通説のようです。中1生の皆さん、ぜひ、このような素朴な疑問を大事にしてください。そのような疑問から、社会・歴史・人間に対する考察が深まることもあります。

G7(G7 って、何かの会議みたいですね。最後、*Kaijo Times*) … 読めましたか?この英字新聞は、KS プロジェクトの一環として、本校の生徒有志が教員のアドバイスを得ながら独自に取材・執筆し、完成にこぎつけた力作です。英語もしっかりとしています。このような発信の機会も、多く持ちたいものですね。